

埼玉県川口市	●活動名	●関係する学校名
	幸町小学校・学校応援団	川口市立幸町小学校

協働活動開始年度	平成 29 年度	学校運営協議会	指定・設置日	平成29年4月1日設置	地域学校協働本部	有
活動区分	学校支援活動	—		地域人材育成		
	—	放課後子供教室		—		
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数		地域学校協働活動推進員等の数		配置人数	
	—		—		2人	
ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	無	ICT機器活用	有	
	372人	—		—		
参考URL	http://sky.netcommons.net/saiwaichou/htdocs/					
●連絡先	川口市教育委員会教育総務部生涯学習課 ☎ 048-259-7655					



学校運営協議会における熟議の様子
(学校応援コーディネーターが委員として活躍)

●活動の概要・経緯

川口市立幸町小学校の「学校応援団」(幸町小サポートスタッフ(SSS))は、学校応援コーディネーターを中核に、学習やクラブ活動支援、環境整備、安全見守り活動などの「学校支援活動」や、公民館(学校と合築)の利用団体を講師とする特別授業の実施及び学びの循環の推進といった「地域人材育成」に取り組んでいる。

教育活動や教育環境の一層の充実を図るだけでなく、教員が子供と向き合う時間の増加、地域住民等の学習成果の活用機会の拡充、家庭・地域の教育力の活性化などもねらいとし、SSSの体制づくりを推進している。

また、平成29年度に学校運営協議会が設置され、学校応援団との連携体制を構築している。特に、学校応援コーディネーターを学校運営協議会の委員として委嘱し、地域学校協働活動と学校運営協議会のスムーズな連携及び活動の充実を実現させている。

● 活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- ①学校応援団(SSS)による学校支援活動:保護者や地域住民等の参画及び大学との連携により、各教科におけるサポート、学校行事の運営補助、登下校や校外学習での見守り活動など、幅広く継続的に支援活動を行っている。
- ②社会に開かれた教育課程の実現:学校で学んだことを生かして地域の活動に積極的に参画する児童の育成を目指し、地域の祭りへの音楽提供、地区防災訓練や地区運動会への参加など、地域と学校の連携・協働体制が構築されている。
- ③学校運営協議会との連携体制:学校運営協議会を地域と学校の目標共有の場として明確に位置付け、地域学校協働活動について協議するなど、連携体制が整っている。

【実施に当たっての工夫】

- ・HPやメールによる積極的な周知活動により、SSSへの登録人数が増し、多くの地域住民等の参画を得ることができた。
- ・学期ごとに活動のまとめを行うとともに学校運営協議会で報告するなどPDCAサイクルを構築し、持続可能な活動を実現している。
- ・地区運動会開催に向けてCMを作成し、校内で放送したことにより、多くの児童の参加につながった。

【関係機関・団体等との連携状況】

- ・学校運営協議会において地域と学校とが目標を共有するとともに、学校応援団の活用について熟議し、地域学校協働活動の充実を図っている。
- ・順天堂大学と連携し、学生がSSSとして授業補助などを行っている。学生が卒業しても次の学生が関わるため、継続した活動が可能となっている。
- ・公民館と連携し、公民館利用団体も学習支援活動を行っている。地域住民等の学習成果の活用機会となっている。

● 地域学校協働活動を実施しての効果・成果

- ・幅広い地域住民等の参画を得る体制が整い、学校応援団の活動が充実してきている(学校応援団参加延べ人数が前年度比200%)。また、学校HPのアクセス数が年間20万を超えるなど、保護者や地域の学校に対する関心が高まっている。
- ・児童は、学習支援や見守り活動等でSSSと関わったり、地域行事に参画し地域住民等と関わったりすることで、地域の一員としての自覚を高めることができる。(地区運動会参加児童数 前年度比150%)
- ・見守り活動により登校時の事故0を達成。交通量の多い都市部という地域の改善・充実につながっている。さらに、教職員の負担軽減にもなり、子供に向き合う時間が増えるなど、「学校における働き方改革」としても効果が表れている。

● その他

- ・学校応援団の環境整備では、配膳台カバーやトイレトーパーホルダーカバーの作製手順等をHPで公開することにより、SSSが自分の都合よい時間に作業できるようになり、効率化につながった。



学校応援団(SSS)による



地区運動会に積極的に参画